

経営比較分析表（令和2年度決算）

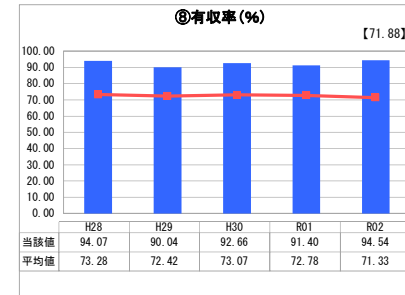
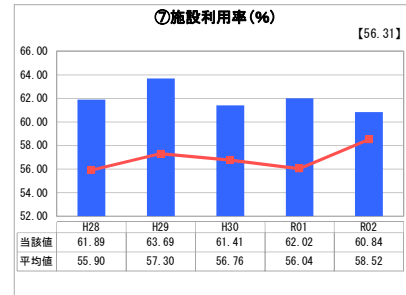
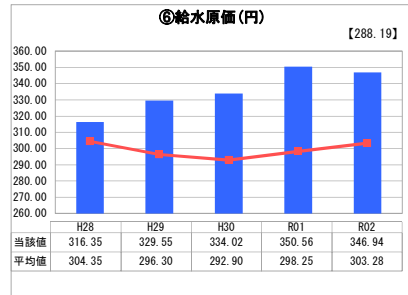
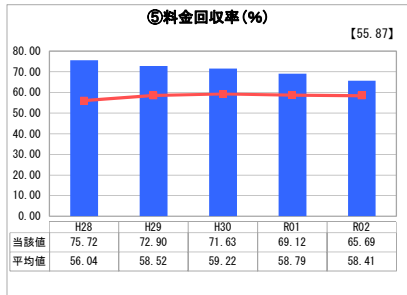
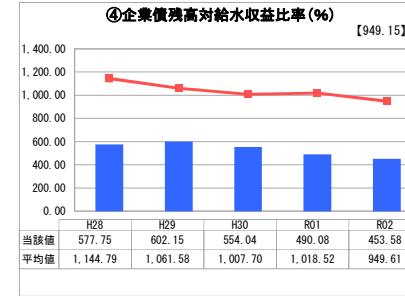
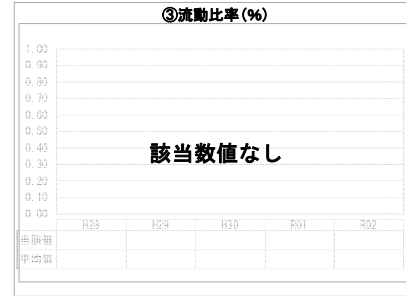
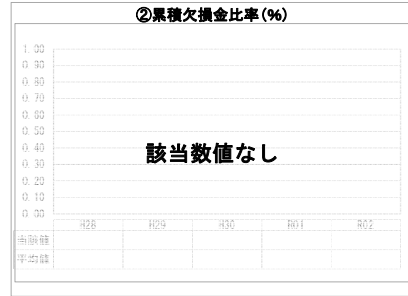
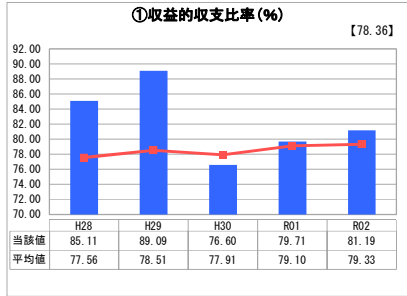
岡山県 久米南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	96.71	4,620	

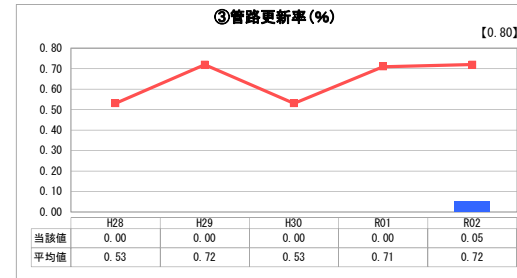
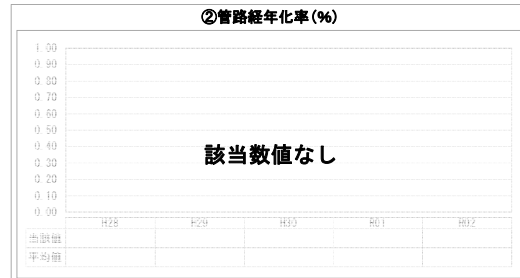
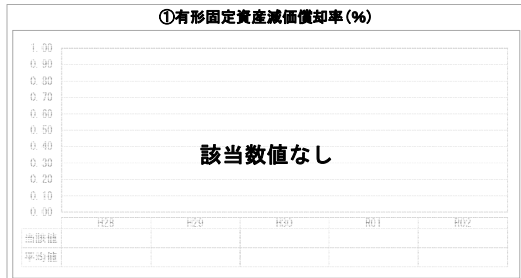
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,689	78.65	59.62
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,504	78.15	57.63

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 収益的収支比率の数値が100%未満であり、単年度の収支が赤字であることを示しています。
- ② 企業債は、令和4年度から公営企業適用債（元金は3年償還）の起債償還が開始しますが、現在償還中のものが今後毎年償還済みとなっていくため、緩やかに下降していきます。
- ③ 料金回収率は、供給原価の上昇によって下がってはいますが、類似団体値及び全国平均のいずれも上回っています。
- ④ 給水原価は、令和元年度と比較して、総費用及び地方債償還金の増加率より年間総有収水量の増加率が上回ったため下回りました。これは、特に有収率が上がり、年間総有収水量の増加によるものと考えられます。
- ⑤ 施設利用率は、これまで類似団体と比較して高い水準となっています。企業団からの受水とともに自ら配水できるよう今後も維持していきます。
- ⑥ 有収率は、今後さらに高数値を目指し、漏水調査等に力を入れ、無駄のない健全な経営を目指します。

2. 老朽化の状況について

管路更新率についてはわずかな数値ですが、令和3年度から公営企業の法適用の準備として固定資産台帳整備に取り組んでいますので、法適用後には台帳から優先順位をつけ更新を順次行っていく予定です。

全体総括

安定供給のために企業団からの受水が必要不可欠な地理的条件ですが、受水費の負担は簡易水道事業の経営に大きな影響を与えるため、今後も十分な検討を行っていきます。

また、令和6年度の公営企業法適用に向けて準備中であり、公営企業化に経営戦略を交えて、より具体的な健全経営を目指していきます。